



世界に希望を生み出そう

WEEKLY ロータリーを繋げよう

週報 No. 2098

鹿児島中央ロータリークラブ



令和6年3月21日 第2125回例会

1977年1月10日創立

2023~2024年度 国際ロータリー会長 ゴードンR・マッキナリー

●会長 高岡 和也 ●副会長 下村 哲也 ●幹事 梶浩多郎 ●編集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 3クラブ合同例会 (鹿児島中央・鹿児島東・鹿児島大学アカデミー)

3月 水と衛生月間

前回例会出席率 68.00%

会長の時間

高岡 和也

テーマ：「3.11 東日本大震災と携帯電話の進化について」



東日本大震災は、13年前の今日、2011年(平成23年)3月11日に発生しました。東北地方太平洋沖地震およびこれに伴う福島第一原子力発電所事故による大規模な地震災害で、地震の規模はマグニチュード9.0で、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震でした。(1995.1.17阪神淡路大震災：マグニチュード7.3 死者6000人以上、2016.4.14 & 4.16熊本地震 マグニチュード7.0 死者200人以上、2024.1.1能登半島地震7.6 死者200人以上)震源域は広大で、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmのおよそ10万平方キロメートル(km²)に及びました。

この震災により、場所によっては波高10メートル(m)以上、最大遡上高(そじょうこう)40.1mにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。被害状況は非常に深刻で、死者約1万5千人、行方不明者約7千5百人、負傷者約5千4百人となり、多くの方が避難生活を送りました。

そんな中で、実は携帯電話は進歩発展と遂げてきました。東日本大震災時の時を思い返すと、当時私は、携帯電話を会社に忘れて天文館で地元経営者の方々大勢で会食をしていました。そして、そこに居た誰も当時の震災に気づかずに帰宅した後にTVを見て知ることになりました。なぜそういう状況にいたってしまったか?実は、災害時はアンテナ基地局やケーブル等に被害がでて基地局が停止したりするのは当然ですが、一般利用者の安否確認などで通話が激増し回線が混雑すると、警察や消防などの緊急通話もつながらなくなるため携帯電話会社は一般利用者の発信を制限

します。東日本大震災では、通信キャリア各社は音声通話を最大70%~95%の通信規制を行いました。その中でもインターネットは災害に強く安否確認や連絡手段として有効です。現在は、災害発生時には無料で開放される公衆無線LANサービス「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」があります。是非これを覚えていてください。

ただ、2011年の震災時の個人スマホ普及率は9.7%だったのです(現在は77.3%)。これはiPhoneが2008年、アンドロイドスマホが2009年に発売開始されたばかりで殆どの方がスマホを持っておらず、携帯電話は電話とメールをするための物でした。当然、ツイッターなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用している人もごく僅かでしたし、WIFI環境の整備もまだまだ普及していませんでした。そういう状況だったので、当時はまだ携帯電話が災害を知らせてくれたり情報収集するツールとして確立されていませんでした。

皆さんが現在、毎日利用されているSNSのLINEですが、実は東日本大震災をきっかけにできたサービスであることをご存じでしょうか。災害時でも連絡がとれるサービスを作るというコンセプトの元、人と人を結ぶ線という思いを込めて「LINE」と名づけられ、震災からわずか3か月でサービスがスタートしました。今ではその名の通り、コミュニケーションに不可欠なサービスです。

また非常時におけるキャリア間ローミングも2025年度末の実現にむけて総務省と4大キャリアは議論と実験をくり返しています。このように、当時と比べるとはるかに携帯電話は進化をとげています。震災が起らないことが一番ですが、自然の恩恵だけをうけることは不可能ですので、人はITやAI技術を駆使してそれに備えをすることが大事だと、改めて考えさせられました。

情報集会報告

■第1班 報告者 松元 まや



世話人：橋元 補佐：松元
オブザーバー：高岡会長
メンバー：竹添、小福田、田實、福山
『Monday! ワクワドキドキ鹿児島中央ロータリー!』

これが1班が出したビジョン声明です。今回の情報集会

のテーマ「クラブビジョンとクラブ戦略計画」は難しそうなテーマでしたが、私たち1班は議論をする必要もないくらいあっという間にビジョン声明が出来上がりました。当クラブの特徴として、仲が良い、派閥がない、ロータリーの活等を楽しんでいる、というところから出来たもので、当クラブをそのまま現しているかと思われます。新たに難しいテーマを作るより、今の中央クラブらしさをそのまま実行していくほうが無理なく、より楽しめると思いますので今のままで、更に内容を充実させていく方向で今後も活

例会場 山形屋7F社交室

例会日 毎週月曜日

事務局 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL.099(223)9366 FAX.099(239)3504

メール kchuorc@bi.wakwak.com ホームページ http://kagoshimachuo-rc.jp/

動していければと思います。

■第2班

報告者 下 隆治



2月19日第2班は吉田、平山、池脇、吉村、逆瀬川、下の6人で(敬称略)、吉田世話人を中心に和やかに話し合いを進めた。まず、クラブの特徴を考えるにあたり、各会員から「ロータリーとは何ぞや」「昔は厳しかったが役に立った」「新会員は最低限わかった中で楽しく」「ほかのクラブの状況がわからない」などの意見が出された。どのようなクラブになりたいか、今後実現したい特徴として①会員増を図るだけでなく、全員でクラブ方針に理解を深める②地域に根差し、地域活動に取り組む③これまで以上に活動を積極的にPRする④災害に備え、クラブでできることを考える⑤各クラブと連携し、中心的存在で奉仕に取り組むが挙げられた。ビジョン声明は短くわかりやすく「地域に広がる 奉仕が広がる 鹿児島中央RCの輪」を掲げた。

■第3班

報告者 宮里 幸彦



宮脇さん世話人に私宮里が補佐、里さん、重久さん、岡部さん、福留さんが参加をされ、「クラブビジョンとクラブ戦略計画について」を話し合いました。まずセッション1戦略計画立案のワークシートから鹿児島中央ロータリークラブの長所と短所を話し合いました。

長所 ・派閥がない

・アットホーム

短所 ・女性会員が少ない

・辞めた会員についてなぜ辞めたかを確認

・地区大会の出席者が少ない

が挙げられました。

次に地域社会にある機会と課題の特定についてですが、機会と課題について話し合うようにあったのですが、地域

社会にある機会を挙げ、それをクラブの活動にどう取り入れられるかを考えてみましょう。このプロセスを通じて、これまでに地域社会にはなかった職種やグループを見つけたり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングの機会を見つけることができるでしょう。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地域社会の課題も挙げましょう。とのことでしたが、3班内で話し合ったのですが、この内容自体をさらに議論しないと意見がでなかったため、こちらについては今後も議論を続けていくということが必要かと思えます。

次に「ビジョンの作成一どのようなクラブになりたいか？」という議論に移りまして、まずクラブの特徴を話し合いました。先ほどの長所にもつながりますが、

・アットホーム

・派閥がない

・会員増強

が挙げられました。

これを踏まえて、「ビジョン声明」として具体的な数字も盛り込み

・50周年に向けて、会員増強をし、会員60名を目指す。

・全員で取り組む。

・懇親会で親睦を深める。

が意見としてでました。特に50周年や60名を目指すといった具体的な数字の目標は里さんのご意見であり、私は非常に素晴らしく実行可能なご意見だと思います。

2/19の情報集会では、ここまででしたが、これら出した意見の計画を作成し、どのようにビジョンを実現するのか今後の情報集会等で積極的に話し合いをしたいと思います。

私はまだロータリー歴は短いですが、非常に参考になるご意見が多く勉強になりました。

引き続き、このような場を頂き、微力ですが、ロータリーの活動に支えになればと思います。

(※4班～6班の報告は次週掲載します。)

スマイル・ボックス

●池島 泰光さん/この度JR九州駅弁大会第14回において、さつま黒膳弁当が昨年に引き続き2年連続「準グランプリ」を受賞しました。来年はグランプリを獲得できる様に精進して参ります。皆さんも新幹線にお乗りの際は鹿児島中央並びに博多駅で是非お

買い求め下さい。

●福山 泰弘さん/先週、本坊会員と四国、金毘羅宮へ参拝してまいりました。私は785段の石段の登り下り、本坊会員はさらに奥社まで1368段の登り下り。敬意を込めてスマイルいたします。参りました。

3月1日のスマイル 小計 6,000円 2023~2024年度 累計 698,527円

ロータリーソング:「それでこそロータリー」

職業宣言唱和: 3・4

食事:「百万ドル食事」・「本日の演奏」

会長の時間:高岡 和也会長

会務報告:梅 浩多郎幹事

1) 本日の配布 ①週報

2) 4月例会変更のご案内 (3/8 FAX 済)

※社交室が使用できないため

4/1(月)の例会→4/2(火) 12:30~ 会場:ホテルグランセレッソ鹿児島に変更

4/15(月)の例会→日時変わらず、会場:山形屋食堂「桜島」に変更 12:30~

出欠回答を3月22日(金)までをお願いいたします。

3) 出欠回答受付中

3/25(月)学習会・ラウンドテーブル、4/6(土)観桜会:締切3/15(金)

4) 次週3/18(月)⇒3/21(木) 18:30~

於:ホテルサンデイズ鹿児島

第2124回例会記録 3月11日(月)

3クラブ合同例会(鹿児島中央・鹿児島東・鹿児島大学アカデミーRC)

出席報告:出席委員会

スマイルボックス:親睦委員会

委員会報告

3分間情報

卓話:情報集会報告

1班~6班

次回例会 令和6年3月25日(月)

PETS報告・会員卓話「年男年頭所感」

出席率	会員数	出席数	出席報告	
	第2124回例会	52名	34名	68.00%
	前々回(2月26日)の補正	52名	37名	75.51%